

県民アンケート結果

食の安全安心の確保に関する基本計画策定に係るアンケート

- 宮城県では、みやぎ食の安全安心推進条例に基づき、5年ごとに「食の安全安心の確保に関する基本的な計画」を策定し、各種施策を実施しています。
- 次期計画（R8～R12年度）の策定にあたり、県民の皆様のご意見を反映するため、以下のアンケートにご協力ください。
- 現計画は右記二次元コード、もしくは食と暮らしの安全推進課HPをご確認ください。
- なお、このアンケートは「令和6年度消費者モニターアンケート」と合わせてご返送ください。



食の「安全」：科学的知見に基づいた法律・規格・基準をみたすもの。
食の「安心」：心理的な信頼感・納得感に基づくもの。

問1 あなたは何をもって「安全な食品」「安心な食品」であると感じますか。重要と思う項目をそれぞれ3点までご記入ください。

	「安全」と感じる項目	「安心」と感じる項目
例	・法律による規制がある ・適正な食品表示がある ・自治体が監視している ・十分な研究がなされている	・県や事業者が情報を発信している ・著名人や家族・知人等が食している ・地元の生産者が生産している ・他国で問題なく流通している
回答	()	()
	()	()
	()	()

問2 食の「安全」を確保するために、「県」、「生産者・事業者」が行うべき取組で必要・重要と思うものを3点までご記入ください。

例	・（生産者・事業者）法律に則った、適切な農薬等の使用 ・（生産者・事業者）食品施設内における適切な衛生管理の実施 ・（生産者・事業者）適切な食品表示 ・（県）法律に則った、自治体による十分な監視指導、検査の実施
回答	()
	()
	()

問3 食の「安心」を確保するために、「県」、「生産者・事業者」が行うべき取組で必要・重要と思うものを3点までご記入ください。

例	・（生産者・事業者）生産現場や工場見学会等、消費者との交流による相互理解 ・（生産者・事業者）相談窓口の設置等による消費者ニーズの把握 ・（県）検査結果等の正しい数値の公表 ・（県）安全性の知識に関する研修会等の実施
回答	()
	()
	()

実施日：7/11～10/30

回答者数：583

一般（モニター+その他）：(352 + 131) + 4 = 487

学生：96

回答数 一般+学生

問1-1 安全と感じる項目 953 + 249 = 1,202

問1-2 安心と感じる項目 838 + 236 = 1,074

問2 安全のための施策 954 + 225 = 1,179

問3 安心のための施策 877 + 203 = 1,080

県民アンケート結果

安全・安心確保の方向性

「安全」確保の方向性 ▶ **食品表示の適正化、適正な監視指導の実施、+（科学的知見の蓄積、衛生管理の向上）**

「安心」確保の方向性 ▶ **情報発信**（産地PR、SNSを活用した情報発信、食品表示の知識向上）

安全の認識		全体的な傾向			学生の傾向						(%)
		食品表示	基準規制	監視指導	科学的知見	国産・地産	衛生管理	残留農薬	鮮度・見た目	その他	
全体 (n=1,202)		30.6	21.9	14.6	10.0	4.2	1.7	1.6	1.3	14.1	
内訳	学生 (n=249)	32.9	17.7	7.6	10.4	8.4	4.8	0.8	5.2	12.0	
	一般 (n=953)	30.0	23.0	16.4	9.9	3.1	0.8	1.8	0.3	14.7	

- ・食品表示、基準設定や法規制については学生と一般で傾向に差がないが、学生は研究による科学的知見の有無や国産・地元産のように生産地に対して安全認識する傾向がある一方、一般的には公的機関による監視指導の有無が安全への寄与度が高い
- ・学生は鮮度や見た目、販売店舗や生産現場の衛生管理なども大きく差が出ている。

安心の認識		全体的な傾向				学生の傾向							(%)
		国産・地産	情報発信	他者影響※	生産者表示	国際規格準拠	食品表示	知名度	公的規制・検査	鮮度・見た目	衛生管理	科学的知見	その他
全体 (n=1,074)		28.8	22.9	9.6	6.5	5.7	4.7	4.6	2.7	2.0	1.0	1.0	10.5
内訳	学生 (n=236)	28.4	15.7	16.9	4.2	8.1	3.8	9.3	0.0	4.2	2.5	1.3	5.5
	一般 (n=838)	28.9	24.9	7.5	7.2	5.0	5.0	3.2	3.5	1.3	0.6	1.0	11.9

※ インフルエンサーや有名人、知人などが食しているといった影響

- ・国産、地元産であるか、十分な情報発信によって安心を感じる傾向は同一であるが、学生は特にSNSインフルエンサーや有名人、知人などが食しているという実態や大手メーカー製造などブランド力があることに大きく影響を受けている。
- ・一方で一般としては生産者の情報の有無が安心に寄与している。

県民アンケート結果

安全・安心のための施策の方向性

「安全」確保の施策の方向性 ▶ 法に基づく監視指導の実施、HACCPの推進 + **農薬適正使用** + (適正な食品表示)

「安心」確保の施策の方向性 ▶ **情報発信・公開** (適切な検査結果等の公開、相互交流の促進、**研修会の開催**) + **情報収集**

安全のための施策

全体的な傾向

(%)

	監視指導・検査	衛生管理	農薬適正使用	食品表示	法令遵守	情報発信・公開	地産地消	生産工程開示	食育	科学的知見	その他
全体 (n=1,179)	26.9	20.3	17.8	16.2	4.2	2.9	0.8	0.6	0.5	0.4	9.5
学生 (n=225)	22.7	25.8	25.8	15.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	5.3
一般 (n=954)	27.9	19.0	15.9	16.4	4.3	3.6	0.9	0.7	0.6	0.1	10.5

- ・ 公的機関による監視指導・検査、製造箇所における衛生管理については同一傾向であるが、一般は特に監視指導の強化と適正な食品表示を求める傾向
- ・ 学生に農薬の適正使用で大きな寄与度がある

安心のための施策

全体的な傾向

学生の傾向

(%)

	情報公開 検査結果、製 造過程等	見学会・交流 会	研修会	ニーズ把握	情報発信 PR、イベント	監視指導	生産者支援	地産地消	食育	食品表示	衛生管理	その他
全体 (n=1,080)	25.8	22.8	15.0	9.9	8.5	3.3	1.6	1.5	0.8	0.7	0.6	9.4
学生 (n=203)	24.1	23.6	19.2	14.3	4.4	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	9.9
一般 (n=877)	26.2	22.6	14.0	8.9	9.5	3.8	1.9	1.5	1.0	0.9	0.5	9.2

- ・ 正しい数値の公開、消費者と生産者の交流、正しい知識の普及に関しては同一傾向
- ・ 学生は県などによるニーズ把握の傾向が高く、一方で一般には県などによるPR等の情報発信を求める傾向がある